



EVモータ用材料の高磁束高周波磁気測定

EVモータの高出力化に対応し、高周波かつ高磁束密度の条件で鉄心材料の磁気特性を評価いたします。

特徴

- EVモータの高出力密度化に伴い、鉄心材料はますます高周波、高磁束密度の条件で使用されるようになっていきます。モータ特性の予測や設計の上では、材料の磁化条件に即した磁気特性評価が必要です。当社は、励磁電源を最大出力1200V×10A(12kVA)に増強し、従来より高周波かつ高磁束密度の条件で磁気測定できるようになりました。

装置の仕様

- 大容量励磁電源を用いた交流磁気特性評価

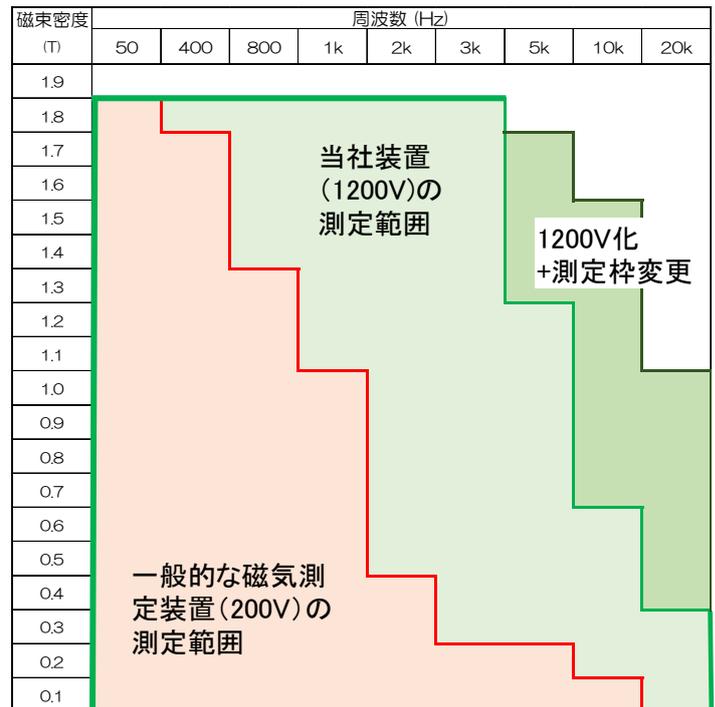
出力: 1200V×10A (12kVA)
励磁周波数: 50Hz ~ 20kHz
試料形状: 板状試料、リング試料、積層コアなど

測定事例

- ① エプスタイン試験枠、リング試験枠による高磁場・高周波磁気測定
- ② モータコア等の積層コアの高磁場・高周波磁気測定



高磁場・高周波磁気測定装置
(1200V)



磁気測定が可能な条件

- * 上記はエプスタイン磁気測定(500g)で測定可能な範囲。
- * 試料断面積の調整により、さらに高い磁束密度での測定が可能



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。